# 水産情報速報版

2026. 10. 9. №1473
**静岡県漁業協同組合連合会**
☎054-254-6011
Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部漁業振興課


### １．2026 年度漁協系統功労者表彰者他決定　　―　本県漁協系統関係者受彰　―

JF 全漁連（坂本雅信会長）は 9 月 9 日に開催された 2026 年度第 4 回理事会において、2026 年度漁協系統功労者表彰の受彰者 68 名（第 41 回漁協運動功労者表彰受彰者 38 名、第 9 回漁業振興功績者表彰受彰者 30 名）を報告しました。

本県関係者では、漁協運動功労者表彰として薩川一義氏＜JF 清水代表理事組合長＞の受彰が決定しました。

ここに受彰を心よりお喜び申し上げ、今後益々のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

### ２．由比漁港　しずまえ食堂オープン！　　―　浜のかきあげやリニューアルオープン　―

長く地元で親しまれてきた由比港漁協の食堂「浜のかきあげや」が 10 月 2 日、装いを新たに「由比漁港　しずまえ食堂」としてリニューアルオープンしました。

浜のかきあげやは、2006 年にオープンし、この 20 年間、新鮮な桜えびを味わえる名物店として人気を博してきましたが、施設の老朽化が進み、今年 6 月末をもって閉店。今月 2 日にしずまえ食堂として生まれ変わりました。

看板メニューはもちろん名物、たっぷりの桜えびがサクサクの「かき揚げ丼」や、どんぶり一面を覆い尽くす「生桜えび丼」ですが、新店舗では桜えび以外のメニューも充実しており、清水港直送の「天然本まぐろ丼」や「今朝どれ活しらす丼」、地元定置網で漁獲された根付きアジを乗せた「倉沢活アジ丼」、さらには 4 種の魚が乗った「しずまえ海鮮丼」など、静岡市沿岸部エリアで獲れる「しずまえ鮮魚」を中心としたメニュー構成になっています。

桜えびの美味しさはもちろんのこと、新たに駿河湾の海の幸を満喫できる食堂として期待が高まります。

### ３．2026 年度桜えび秋漁の操業を決定　　―　県桜えび漁業組合　―

県桜えび漁業組合（實石正則組合長）では、9 月 24 日 由比港漁協会議室において役員会を開催し、本年度の桜えび秋漁の操業日等を下記のとおり決定しました。

本年度の秋漁についても自主規制を継続し、下記の日程のとおり行うこととされました。

▽操業期間：10 月 29 日（木）晩～12 月 24 日（木）晩▽

なお、秋漁の開始前 10 月 22 日（木）に大井川港漁協にて、10 月 26 日（月）には由比港漁協にて「生産技術研修会」を開催することとなっています。

## 安全･安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

## 自立漁協の構築に向け合併･事業統合を進めよう

### ４．世界の魚粉生産半減！　　―　魚粉暴騰　飼料再値上げへ　―

9 月 14 日、水産原料の国際貿易組織、国際魚粉魚油機構（IFFO）は 1～7 月の全世界の魚粉生産量が前年同期比 49%減、魚油生産量は 30%減と試算を公表しました。今年になり発生したスーパーエルニーニョの影響を受け、世界の魚粉生産の約 2 割を占める最大の生産国ペルーとチリでアンチョビ（カタクチイワシ）漁獲の大幅減が大きな要因となっています。

ペルーアンチョビ漁の第 1 期は 4 月に開始しましたが、6 月に未成魚割合の高さから全面禁止で終了しました。漁獲量は前年同漁期比 81%減の 46 万 9 千トンにとどまりました。アフリカ諸国や北欧も漁獲量が減少しており世界的に大きく減少しています。

アジア諸国では 10～12 月に漁獲の最盛期を控える国もあるため、供給減少を穴埋めする可能性もありますが予断を許さない状態には変わりありません。

国内の飼料メーカー各社は今秋にも大幅な値上げを行っており、養殖業者は燃油、資材類含め経営面に大きな不安を抱えています。

全国漁連海面養殖業対策協議会は 8 月 18 日、山本啓介農林水産大臣政務官（当時）と、坂本雅信会長ならびに各県代表者が面会し、魚類養殖の経営安定対策等に関する要望を行いました。また、9 月 18 日には全国内水面漁業協同組合連合会、全国内水面養殖振興会も農林水産省を訪れ、藤田仁司水産庁長官に対し、飼料価格の高騰を受けた国の支援を要望しました。漁業セーフティーネット構築事業の国負担割合引き上げの他、低魚粉飼料導入に対する実証事業への支援を求めました。

先行きが不透明な状況は今後も続くと思われるため、漁協担当者様はセーフティーネット構築事業未加入組合員への加入促進をお願いいたします。

### ５．全国漁船安全操業推進月間実施中！

2026 年度全国漁船安全操業月間が全国一斉に 10 月の 1 か月間展開されます。これは、船舶の海難及び人身事故において、漁船による事故の占める割合が多いため、漁業者及び漁業関係者に向け、事故防止と安全操業に関する意識の向上並びにライフジャケット着用率の向上や AIS（船舶自動識別装置）の普及促進により人身事故発生等を減少させることを目的とし、効果的な事故防止キャンペーンとして毎年実施されています。

漁船関係者の皆様は、ライフジャケットの着用及び出港前の機器チェックやメンテナンス、気象・海象情報の収集と津波への備え、さらには、海難事故での特徴としてみられる「見張り不十分」「操船不適切」「居眠り操船」などの予防・対策意識の向上にも努めてください。

### ６．本会　人事異動のお知らせ

本会では、次のとおり職員の人事異動を発令しました。（カッコ内は旧役職）

◇退　　職　9 月 30 日付

▽指導部漁業振興課兼協同組合課　池ヶ谷　渉（嘱託）

本紙は、県内の漁業振興を目的に（公財）静岡県漁業振興基金の協力により発行する定期刊行物です。

## 漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう